

PR
CRODDI supported by

トップが語る モノづくり企業の 未来ビジョン

中外炉工業は、薬炉と工業用バーナーのトップメーカーで、右肩上がりで業績を伸ばしている。既存商品の拡販と同時に、新規機関連の機材や設備など新たなニーズを技術開発でつかみ、2017年3月期は6期連続の増収・営業増益を達成。坂田守氏は「主たる国内の鉄鋼や自動車以外の市場拡大に力を入れている」と語り、事業や経営の環境変化に迅速に対応する経営方針を語った。

2017年3月期売上高 37.7億円(前増13.3%)、営業利益2.8億円(前増10.5%)、営業増益2.8億円(前増10.5%)、引当金の変動が減少要因で、増収・増益の要因は、国内の鉄鋼を中心に、新規機関連の機材や設備など新たなニーズを技術開発でつかみ、2017年3月期は6期連続の増収・営業増益を達成。坂田守氏は「主たる国内の鉄鋼や自動車以外の市場拡大に力を入れている」と語り、事業や経営の環境変化に迅速に対応する経営方針を語った。

工業炉と工業用バーナーのトップメーカー



中外炉工業
代表取締役社長 坂田守氏

「既製品の中で、増収・増益の要因は、国内の鉄鋼を中心に、新規機関連の機材や設備など新たなニーズを技術開発でつかみ、2017年3月期は6期連続の増収・営業増益を達成。坂田守氏は「主たる国内の鉄鋼や自動車以外の市場拡大に力を入れている」と語り、事業や経営の環境変化に迅速に対応する経営方針を語った。

「既製品の中で、増収・増益の要因は、国内の鉄鋼を中心に、新規機関連の機材や設備など新たなニーズを技術開発でつかみ、2017年3月期は6期連続の増収・営業増益を達成。坂田守氏は「主たる国内の鉄鋼や自動車以外の市場拡大に力を入れている」と語り、事業や経営の環境変化に迅速に対応する経営方針を語った。

既存商品改良、機能材用拡大、脱炭素技術先行



堺事業所(堺市西区)
公式キャラクター さーもてっくん

「既製品の中で、増収・増益の要因は、国内の鉄鋼を中心に、新規機関連の機材や設備など新たなニーズを技術開発でつかみ、2017年3月期は6期連続の増収・営業増益を達成。坂田守氏は「主たる国内の鉄鋼や自動車以外の市場拡大に力を入れている」と語り、事業や経営の環境変化に迅速に対応する経営方針を語った。

Chugai Ro

<https://chugai.co.jp>